



親学習プログラムの
ファシリテーターとして

保護者同士のつながりづくりを 皆さんの力でサポートしてください

家庭教育支援プログラム指導者研修

家庭教育支援プログラム指導者研修は、「親学習プログラム」を効果的に活用できる方の養成を目指しています。このプログラムは、就学時健康診断や保護者会、家庭教育学級など、学校や公民館に保護者が集まる機会に実施されるものです。令和元年度は、県内で約 350 回実施されました。

近年、家族構成の多様化や生活様式の変化等により、人とのつながりの希薄化が課題になっています。子育て家庭や子どもたちを地域社会全体で見守り支える機運が高められるよう、親学習プログラムのファシリテーター（※プログラムを進行していく人）として、とちぎの家庭教育をサポートしてください！

親学習プログラムのファシリテーター



就学時健康診断での親学習プログラムの様子

ファシリテーターの進行により、子育てについてグループで話し合っています。和やかな雰囲気になるよう、ファシリテーターは全体に気を配りながら、グループに声をかけたり、話を聞いたりします。



高等学校での親学習プログラムの様子

参加者が安心して参加できるよう、ファシリテーターは「尊重」「参加」「守秘」の3つの約束を最初に確認します。参加者ひとり一人が大切にされる雰囲気づくりに努めます。

「親学習プログラムのファシリテーターって言われても、ハードルが高い！」と思われるかもしれませんが、ご安心ください。家庭教育支援プログラム指導者研修を修了した方は、県内にたくさんいます。そして、プログラムを実施するときは、その人たちが協力し合い、複数のファシリテーターでプログラムを展開することもあります。また、「親学習プログラム」の冊子には、プログラムの進め方やワークシートなどが載っています。

親学習プログラムのワークには、決まった答えがあるわけではありません。参加者同士が話し合いを進めていく中で、自分自身の問題に気付いたり、親としてのあり方や役割について考えたり整理をしたりするきっかけとすることがプログラムのねらいです。そして、親学習ファシリテーターは、その学びを支援する役割を担っています。どうぞ、とちぎの家庭教育支援に、ご協力をお願いします。



※詳しくは Web サイト「とちぎレインボーネット」の
「とちぎの子育て・家庭教育支援」をご覧ください。

【お問い合わせ先】

栃木県総合教育センター 生涯学習部

Tel 028-665-7206 Fax 028-665-7219

e-mail : skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp



「とちぎの子育て・家庭教育支援」